

平成27年3月期

第2四半期決算説明 参考資料

平成26年11月7日



Make it
Happy

目 次

1. 平成27年3月期第2四半期連結累計業績推移	・・・	P3
2. 売上高および経常利益の推移(連結)	・・・	P4
3. 資産、負債及び純資産の推移(連結)	・・・	P5
4. セグメント別の概況		
水産事業セグメント	・・・	P6
一般食品事業セグメント	・・・	P7
畜産事業セグメント	・・・	P8

1. 平成27年3月期 第2四半期連結累計業績推移

- 売上高は、「強い商品」と「強い機能」を活かした営業活動を展開し、新たな需要創造と顧客開拓を進め、848億6百万円(前年同期比4.1%増)となりました。
- 利益面は、売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加により、営業利益3億51百万円(前年同期比42.2%増)、経常利益5億74百万円(同23.2%増)、四半期純利益2億86百万円(同11.6%増)となりました。

平成27年3月期第2四半期連結累計実績

単位:百万円(百万円未満切捨て)

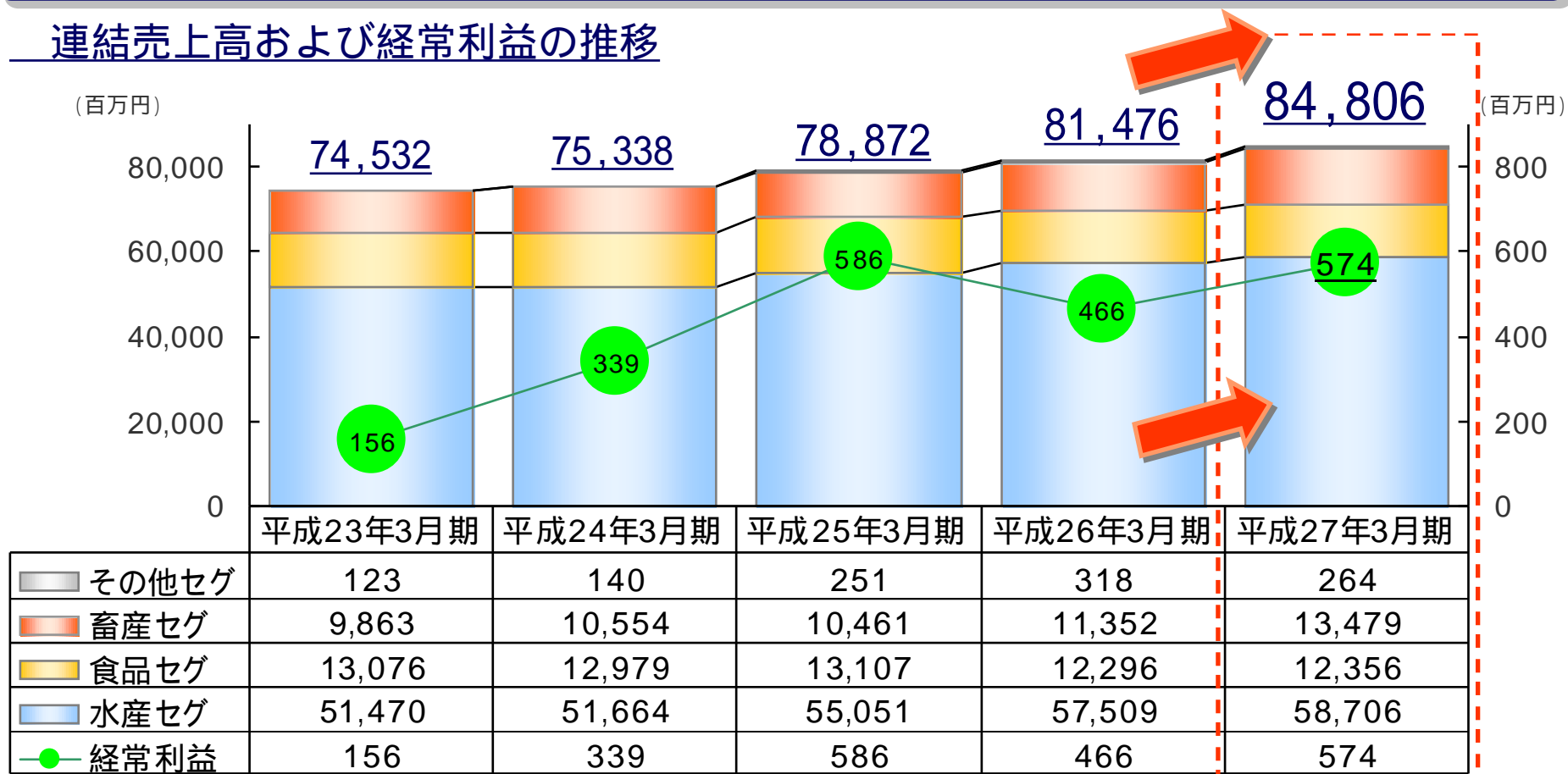
	第1四半期			第2四半期累計			通期 予想
	実績	前年比	前年増減	実績	前年比	前年増減	
売上高	40,829	105.6%	2,164	84,806	104.1%	3,329	170,000
営業利益	60	増106	106	351	142.2%	104	1,075
経常利益	181	280.4%	116	574	123.2%	108	1,450
四半期純利益	87	502.9%	69	286	111.6%	29	700

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、平成26年5月9日発表から変更はございません。

2. 売上高および経常利益の推移 (連結)

- 収益拡大に向けましては、商品の調達力と開発力、生鮮基軸の地域密着型フルライン機能を活かした営業活動を展開し、また、長野県内や首都圏で開催した展示商談会において付加価値提案を推進するなど、新たな需要創造と顧客開拓を進めております。
- 事業構造改革に向けましては、さらなるローコスト化を目指し、機能のネットワークと一元化による拠点機能の再編を進めております。

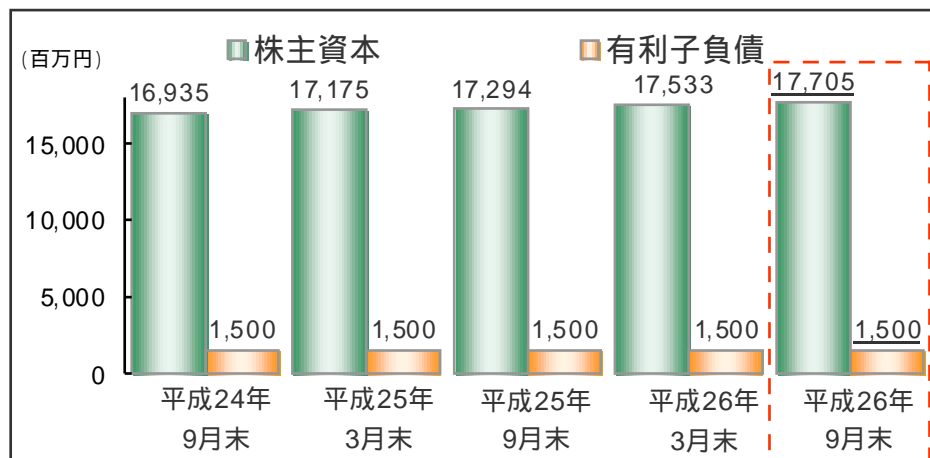
連結売上高および経常利益の推移



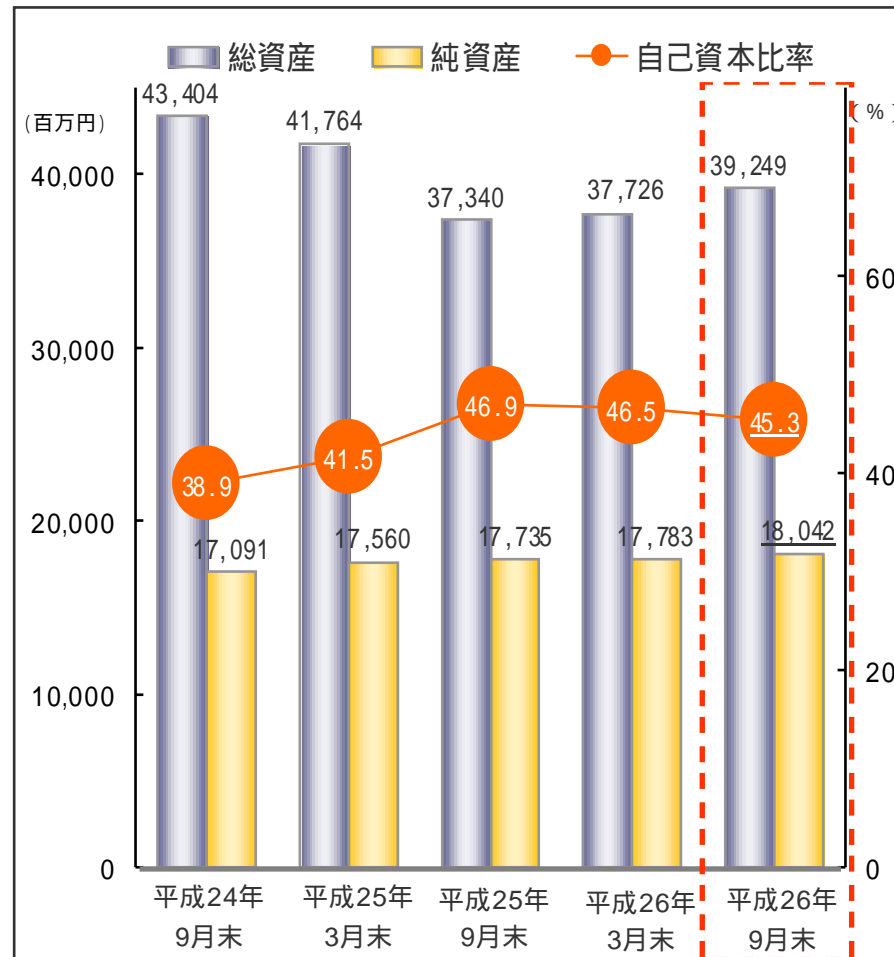
3. 資産、負債及び純資産の推移 (連結)

- 平成26年3月末と比較して、純資産は2億59百万円増加、総資産は15億22百万円増加となりました。
- 自己資本比率は、平成26年3月末の46.5%から45.3%に減少しました。

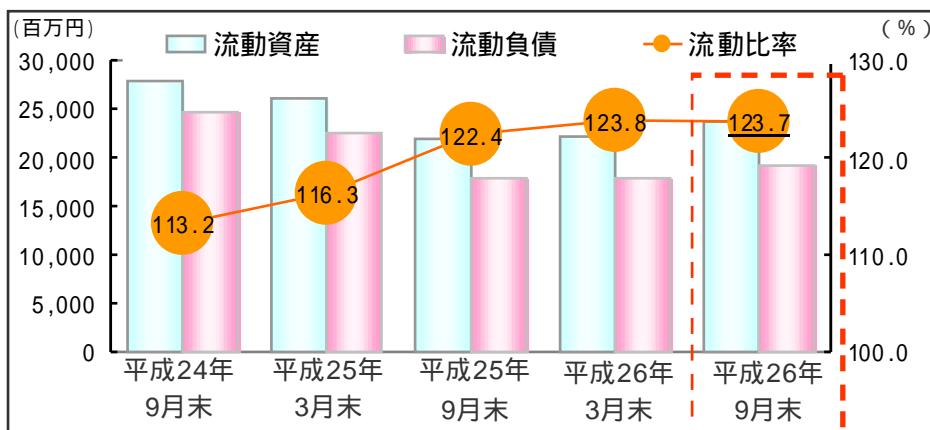
株主資本・有利子負債の推移



総資産・純資産・自己資本比率の推移



流動比率の推移



4. セグメント別の概況

水産事業セグメント

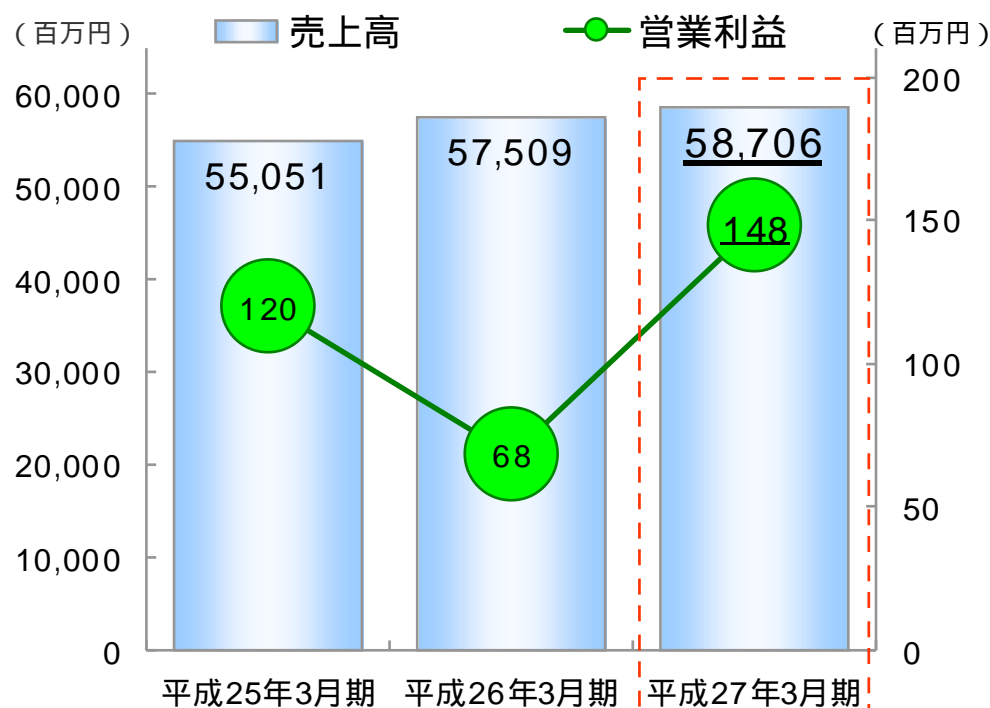
売上高: 587億6百万円(前年同期比2.1%増)

- ✓ 新たな産地との取引による商品調達の強化
- ✓ 戦略魚種のフルアソート調達による全業種・業態への販売チャネル拡大
- ✓ 和日配・洋日配のオリジナル開発商品の販売拡大
- ✓ フードサービス事業における新規顧客開拓への販路拡大

営業利益: 1億48百万円(前年同期比117.5%増)

- ✓ 売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加

第2四半期累計連結売上高および営業利益の推移



全国の産地との
取り組みにより、
商品調達力・販売力・
開発力を強化

和日配・洋日配の
オリジナル開発商品を
販売拡大

(写真は「スイーツ
ストーリー」シリーズ)



4. セグメント別の概況

一般食品事業セグメント

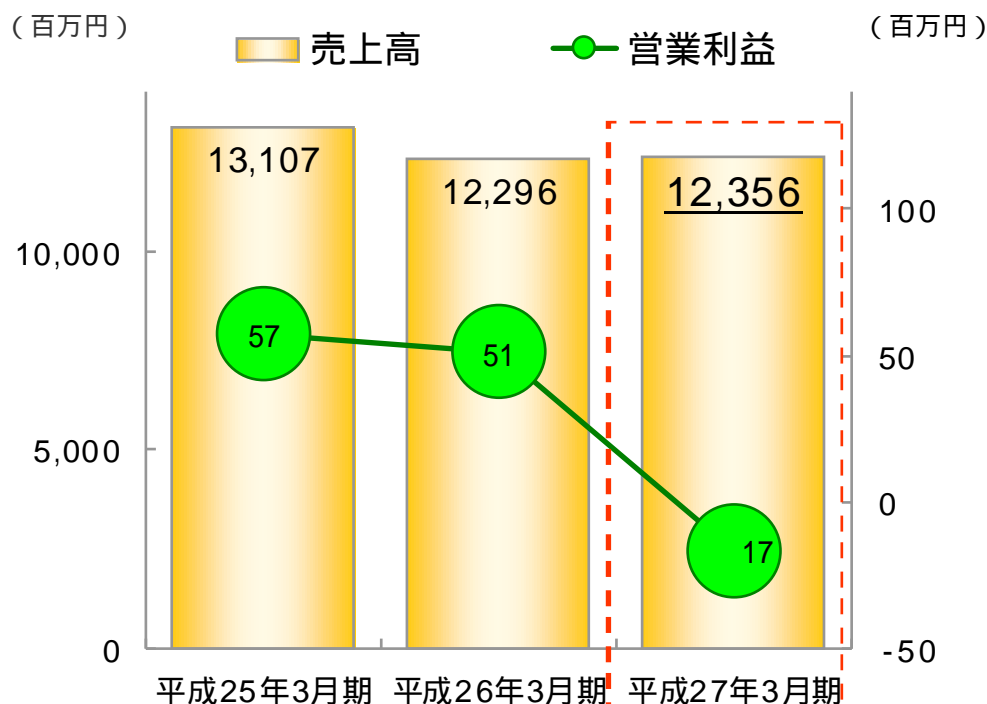
売上高: 123億56百万円(前年同期比0.5%増)

- ✓ 主要顧客との取り組み強化による基盤商圏の深耕化
- ✓ 当社オリジナル商品の開発と長野県内外への販売等により販売マーケットを拡大

営業損失: 17百万円(前年同期は51百万円の営業利益)

- ✓ 店頭における低価格競争の影響等により売上総利益率が低下
- ✓ 収益力を強化すべく、事業構造改革による生産性向上や、事業基盤の拡大等へ戦略的に取り組んでおります

第2四半期累計連結売上高および営業利益の推移



信州産の原材料を使用した当社オリジナル商品を長野県内外へ拡売



地元の牛乳メーカーとコラボレーションした「オブセ牛乳」菓子シリーズの販売が好調



4. セグメント別の概況

畜産事業セグメント

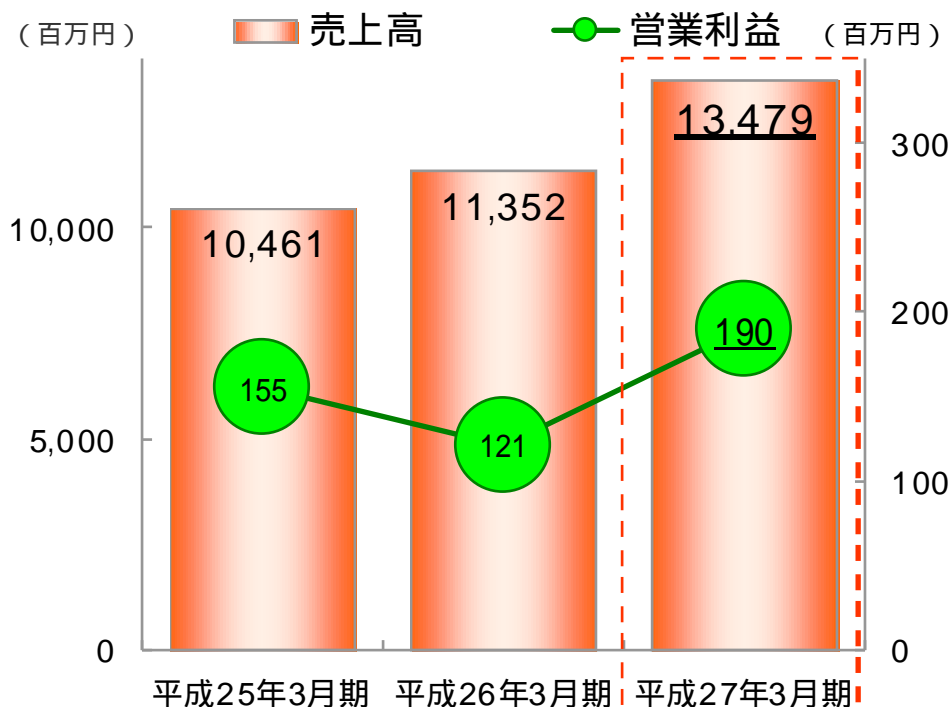
売上高: 134億79百万円(前年同期比18.7%増)

- ✓ 畜産物全般の相場が高値で推移する中、畜産品の需要が堅調に推移
- ✓ 生産者との取り組みによる強い商品力と調達力を活かし、首都圏を中心に新規エリアへの販売を拡大

営業利益: 1億90百万円(前年同期比56.3%増)

- ✓ 売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加

第2四半期累計連結売上高および営業利益の推移



ISO9001取得の子会社
大信畜産工業株から
安全・安心な商品を生産

当社オリジナル商品
「りんご和牛信州牛」
「信州米豚」
「信州ハーブ鶏」
を拡売





(注)本資料に記載されている業績見通しや将来予測は、資料作成時点での当社の判断であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により、実際の業績等は大きく異なる可能性があることをご承知おきください。